

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人代々木鳩の会
施設名	岡本こもれび保育園
報告者（役職）	目黒 純子（ 園長 ）
住所・連絡先	東京都世田谷区岡本 3-20-10
	☎ 03-3416-6116
	E-mail hato@o-komorebi.com

○タイトル（保育計画）

岡本のやさしいこもれびに包まれながら、子どもも大人もみんなが心地よくくつろぎ、人・自然・物と豊かに触れ合える環境の中で豊かに育ちあう

○主な助成備品

絵本、紙芝居、パネルシアター(ブラックシアター)、本棚、キッズソファ、プロジェクター、スクリーン

1. 保育計画策定の目的

絵本や紙芝居を通して、お話の世界を楽しみ、創造力を膨らませたり、色々な感情を味わったり、言葉の表現を知ったりすることで豊かな感性が育まれます。しつけや教育として絵本を読むのではなく、大人と子どもが同じ絵本に触れ合うことで、お話の世界の楽しさを共有し心を通わせる機会となります。親子で気軽に絵本を手に取り楽しめる環境は、心地よくリラックスできる空間と時間につながると考え、誰もが利用できる「こもれび文庫」の充実を図りたいと計画しました。

家庭では見ることのできないパネルシアターやブラックライトを使ったお話では、子どもたちがみんなと一緒に見てお話の世界を共有したり、楽しさを共感したりすることで心を豊かにすることができます。

長時間保育のお子さんが増え、子どもたちが保育園でどのように過ごしているのか、どのように成長していくのかなど、親御さんが実感する機会がなかなか持てない現状があります。子どもたちの様子を映像にして保護者会や行事の時などに見ていただくことで子どもの成長の喜びを共有し、育児のやりがいを感じられる機会につなげたいと考え、映像が見られる環境を計画しました。

このような計画から、岡本こもれび保育園が子どもにとっても大人にとっても、居心地が良く、誰もが気軽に立ち寄れる場になれることに近づければと願っております。

2. 具体的な実施内容

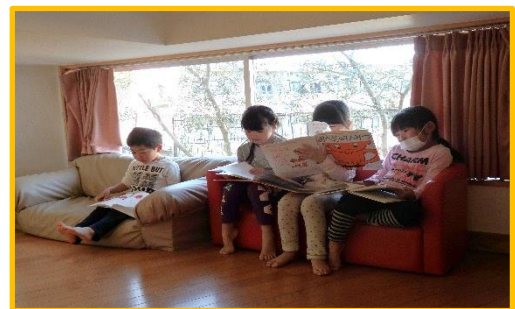
(絵本・本棚・キッズソファ)

1階階段下に「こもれび文庫」を設置しました。本棚とくつろげるキッズソファを置き、子どもがいつでも自由に絵本を手にとることができるように配置しました。また帰りに親子が気軽に立ち寄り、一緒に絵本を見たり、借りていきたい本を選んだりがゆっくりとできるような空間作りを心掛けました。



(パネルシアター・ブラックライト)

行事や、地域交流（地域の親子が遊びに来る日）の時に、パネルシアターやブラックライトを使って、家庭では見ることができないお話の世界を楽しんでいます。



(プロジェクター・スクリーン)

年3回実施している「試食会」の時に子どもたちの食事の様子をスクリーンに映し保護者の皆さんに見ていただいています。

また、行事の時に0歳、1歳児クラスは、日常の生活、遊びの様子をビデオに納めたものを映像で流し見ていただいています。



3. その成果と評価

「こもれば文庫」のコーナーは、子どもたちが自然と集い、思い思いに絵本を選んでソファに座り見ている姿が、日常の中で随所に見られるようになりました。保護者の方と帰りに文庫に立ち寄り、「今日は、これを借りていきたい」「どれにしようか？」などと親子でお家で読みたい本を選ぶ光景が見られます。子どもたちもちょっとした時間を見つけては、絵本を楽しむようになりました。また、幼児の課業で「文学」を取り入れ、計画的に読み聞かせを行ってきた結果、文学の時間を楽しみに待ったり、少し長いお話も興味を持ってじっくり聞き、お話の世界を楽しめるようになってきました。プロジェクターで保護者向けに子どもの様子の映像を行事の時などに流してきました。

実際に子ども達の様子を映像で見ることによって、安心感や、自分の子どもだけでなく他のお子さんの様子を見ることによって、保護者同士が育児の面白さや苦労を共感できる場にもなったようで保護者支援の一端になっています。

4. 今後の課題と展望

地域の親子が定期的に交流を図れるよう月に1回、「こもれびひろば」を開催するようになりました。その中で、今後は読み聞かせや、絵本の貸し出しなども取り入れ地域の皆さんにとっても居心地が良く気軽に利用できるような「こもれび文庫」を充実させていきたいと思います。

また、育児支援の一環として、保護者向けに子どもの様子だけではなく、子育てのヒントや励みになるような講座を、映像やパワーポイントなどを使って行っていきたいと思っています。

これからも更に、「ここに保育園があってよかった」と思ってもらえるような温かくて居心地の良い保育園作りを目指していきたいと思っています。

以上